

Corporate Profile

Automotive





会社概要 Company overview

AZAPA株式会社(アザパ株式会社)

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-20
THE SQUARE 9F/10F

6500万円

2008年7月

代表取締役社長&CEO 近藤 康弘

70名(国内グループ含む) ※博士5名在籍

電話/FAX

052-221-7350/052-221-7351

国内拠点

AZAPA R&D TOKYO
AZAPA R&D YOKOHAMA
AZAPA R&D OKINAWA

グループ企業

ADEA株式会社(名古屋市中区丸の内)
AIZAC株式会社(神奈川県茅ヶ崎市)
阿札帕科技有限公司(中国北京)
AZAPA R&D AMERICAS,INC.
(米国カリフォルニア州トーランス)

AZAPAという名の由来

平和な世界と真の豊かさの追求

AZAPA(アザパ)の社名は、平和の象徴とされるオリーブのひとつの希少品種に由来し、その実は違う品種との交配によって結実する(実をつける)特徴があります。当社の「高い技術力と豊かな創造力」あるいは「AZAPAのビジネスコアとお客様」をつなげ、新しいビジネスの創造をする思想を表現しています。我々、技術者や科学者は、何も存在しないところからでも、いつでも世界にイノベーションをもたらし、そして、その創造は産業を、そして市場を形成し、人々へとつながることができると思っています。

AZAPAは、オリーブの結実のような遺伝的意思により、平和な世界と真の豊かさを追求し、創造し続けたいと思います。

沿革

2008年	7月	AZAPA株式会社設立
	9月	本社オフィスを移転
2009年	4月	中国上海に事務所を設立 ADEA株式会社を設立
	7月	資本金を800万円に増資
2010年	9月	中国北京に阿軋帕(北京)科技有限公司を設立
	7月	資本金を2,500万円に増資
2011年	10月	資本金を6,500万円に増資 沖縄にAZAPA R&D OKINAWAを開設
	4月	アメリカ カリフォルニア州に AZAPA R&D Americas, Inc.を設立
2012年	10月	神奈川にAZAPA R&D YOKOHAMA を開設 神奈川にAIZAC株式会社を設立
	12月	東京にAZAPA R&D TOKYOを開設

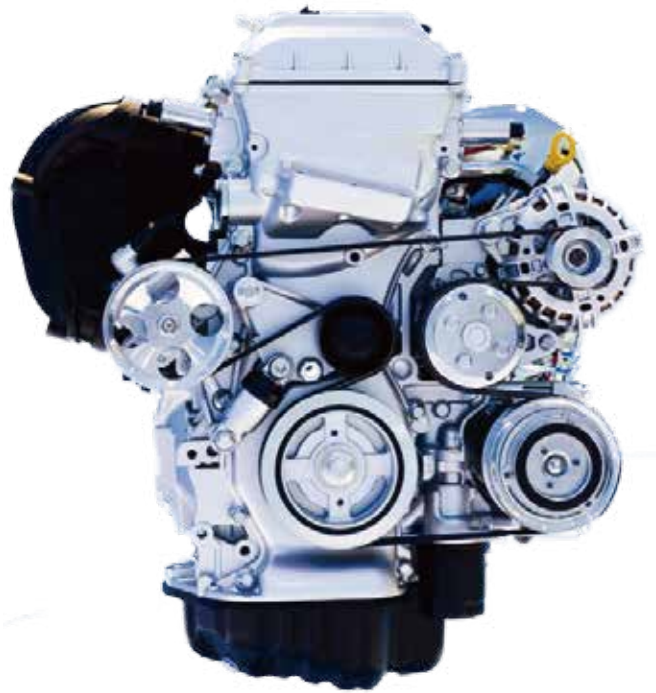
主要取引先

トヨタ自動車株式会社
デジタルプロセス株式会社
伊藤忠商事株式会社
いすゞ中央研究所
株式会社光岡自動車
株式会社電通国際情報サービス
日産自動車株式会社
アンシス・ジャパン株式会社
日本特殊陶業株式会社
住友電気工業株式会社
日本シノプシス合同会社
株式会社SIM-Drive
富士重工業株式会社
株式会社デンソー

ごあいさつ

AZAPAは、『人とクルマの調和』の実現に向け、自動車産業を基点とする先駆的な価値を創造する強い意思を持ち続け、パラダイムシフトによる企業の変革が求められる中、有機的な組み合わせをご提案します。

4つの事業である、AUTOMOTIVE、Communication & Solution Service、Info Tech、ENERGYは、我々の夢である『Brand new values for vehicle(クルマの新しい価値)』をカタチにするものです。AZAPAグループのひとりひとりが、この意思に共感し、真の豊かさを求め、環境社会に貢献することをお約束し、今後もAZAPAのリーフに込められた「世界平和への願い」を実現できるように、様々な取り組みを進めていきます。



社長メッセージ

代表取締役社長 近藤 康弘

「世界中が感動するような共創をしましょう！」

我々の未来は、いつでも輝いている必要があります。時には自然の摂理によって難しい問題に遭遇するかもしれませんが、それでも人類は未来に向かって挫折を何度も繰り返し、新たな可能性の発見と哲学までに醸成させるほどの強い想いをテクノロジーに変換して、未来を創造できると思っています。私は電子・情報工学を学び、遺伝子の環境適応性とその情報結合度について想像を膨らまして、たったひとつだけ理解したことがあります。人類だけが“未来を考え”、“可能性をカタチ”にすることに挑戦し、“世界をつなぐ”ことで分け与え、希少な資源を“新しい価値”に変換することを自ら選択できると。これがAZAPAのPOWER（行動理念）となり、我々の行動のひとつひとつが、未来に貢献することにつながり、感動と輝かしい世界を創造できる喜びをいつでも誇りに思えるような会社でありたいと信じています。



経営理念

「高度な技術力と、豊かな発想力で平和と真の豊さに貢献する」

世界で豊かな国のひとつである日本にとって、豊さを未来へ継承することは、とても重要な役割です。現在、先進国は内需減退を背景に短期的な成長を求め、新興国市場へのグローバル戦略を加速させています。しかし、先進国のいずれかがグローバル戦略で成功し、成長を果たしたとしても、日本が受ける経済的な影響はマイナスにならないをえません。一方で、世界の貧困層 (Base of Pyramid) の経済システムは新興国から置き去りにされ、経済格差は広がるばかりです。AZAPAは、こうした経済問題を前提に“日本はどうあるべきか”を考え、技術の提供によるゼロ資源から脱却と自立への産業の牽引、経済市場の形成へと導くことを可能とすべく活動しています。

「高度な技術力と豊かな発想力」によって、連続的なイノベーション（革新）を生み出す挑戦を続けることが、サステナブルな「平和と豊さ」を継承する答えであると固く信じているからです。AZAPAの遺伝子 (DNA) は、同種では結実しないオリーブの形質と同じであると同時に、民族・宗教・国境を超えて共創する象徴として、皆様とともに社会に貢献していきたいと考えています。



事業内容

Automotive 圧倒的なパワートレイン領域での技術力と創造的ソリューション

- / モデルベースド・ソリューション
 - MBR (Model-Based Requirement) サービス
 - MBD (Model-Based Design) 車両設計
 - MBT (Model-Based Test) 制御ソフトウェア開発
 - MBC (Model-Based Calibration) フィールドテスト
適合開発
- / フィールドエンジニアリング
 - / オープンイノベーション
 - モデルオープンファクトリー

InfoTech 人と街、クルマ、社会とのツナガルを実現、「考えるクルマ」による最適化

- / 次世代通信モジュール
 - WiFi-Direct
 - Bluetooth LE
- / 次世代インターフェース
 - NUI (Natural User Interface)
 - リアルタイムセンシング
 - バーチャルテクノロジー
- / IoT ソリューション
 - モビリティサーバー (通信 ECU)
 - セキュアロジック

Energy 再生可能エネルギーの未来に挑戦し、サステナブル社会を牽引する

- / パワーエレクトロニクス OEM サプライ
 - 風力発電向けパワーコンディショナー
 - 発電効率化アルゴリズム
 - DC インバータ
- / エネルギーマネージメント
 - ソリューション
 - 電力マネージメント
 - 売電アルゴリズム

Communication 世界をツナゲル、共感と関係性を支えるテクノロジー

- / テレマティクス
 - ビッグデータ
 - サービスアプリケーション
- / ソーシャルテクノロジー
 - ペルソナ

グローバル戦略

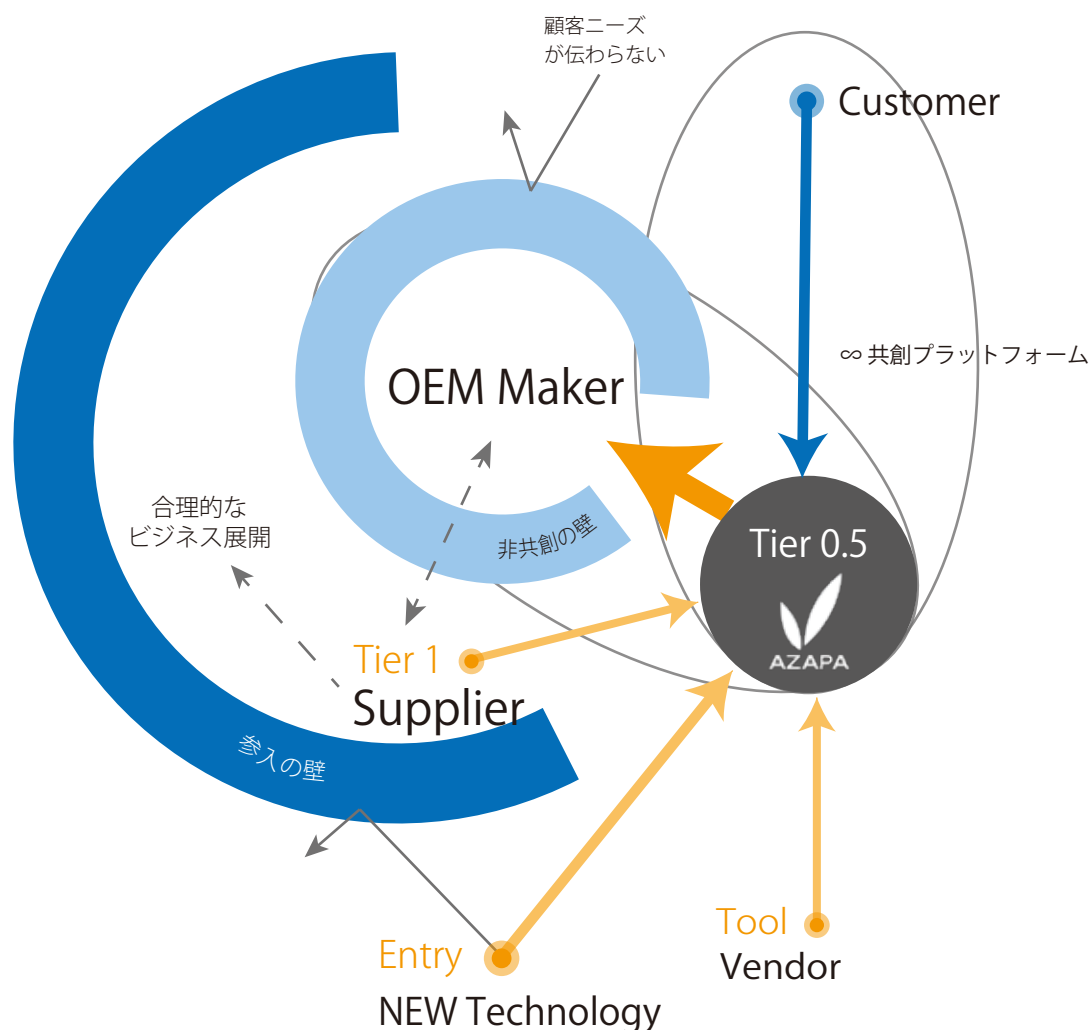


■ADEA 株式会社
(名古屋市中区丸の内)
あらゆるものを有機的に情報連携させるためのモジュールやプラットフォームを開発する。ジャンルを問わず新たな価値を創出するための場として Co-Working Space を準備。

■AIZAC 株式会社
(神奈川県茅ヶ崎市)
日本OEMメーカーのグローバル戦略を、JAPAN QUALITY (日本のものづくりの継承) のエンジニアリングサービスで貢献すべく、自動車分野にてにおいてヒューマンリソース提供による開発支援サービスを行う。

Tier 0.5 戦略

我々は、自動車産業クラスタにおける新しい価値観、存在感を「Tier0.5」というポジショニングで構築することで、従来までのクローズドイノベーションからの変革を牽引します。



2つの障壁を越える

自動車産業クラスタには、OEMメーカーとサプライヤーの帰属関係による閉鎖的な「参入の壁」と、帰属意識により縛られたビジネスとなる「非共創の壁」があります。この障壁を超える存在がAZAPAです。

自動車全体の最適制御がキーテクノロジー

我々のコア技術は、エンジン制御理論の開発を基に自動車全体での最適制御を考え、それを具体的にできることです。パワートレイン領域における難しい技術課題を見える化できる技術は共感を呼び、新しい発想で解決に導くことができます。このAZAPA独自の解決手法を「研究ソリューション」と呼び、OEMメーカーとの強い関係構築につながっています。

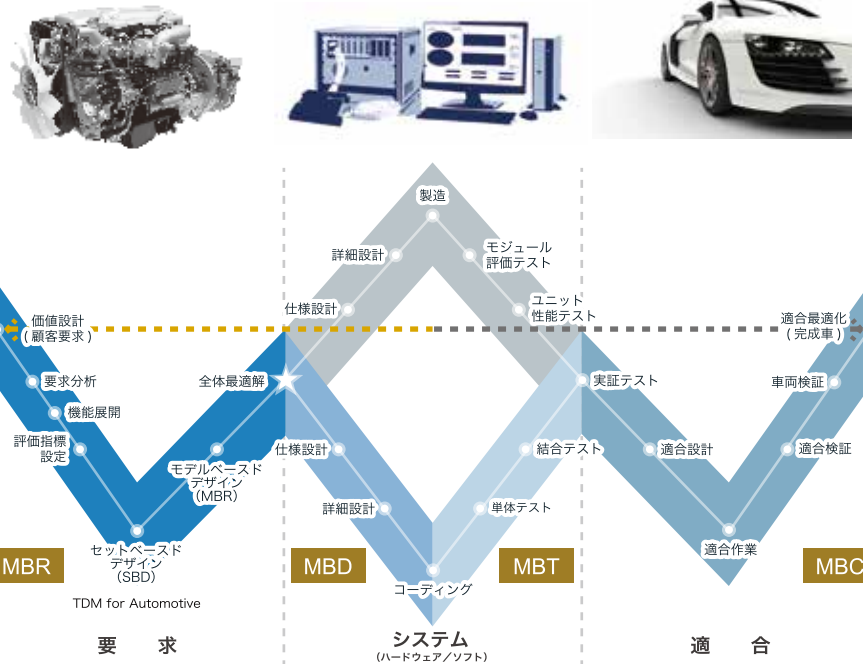
共創コミュニティからの新しい機能システム

日本のモノづくりは、顧客が本当に必要なものをつくれないうえです。これは、既成概念にとらわれたまま、新たな価値提供を考えるからです。我々は、顧客と共に本当に必要なものを提供できる「共創コミュニティ」を形成し、あらゆる分野とツナガルことで自動車産業クラスタのオープンイノベーションを牽引します。

研究ソリューション

自動車開発におけるパワートレーン領域全般での原価低減の為に開発プロセスの効率化、および商品力の向上を目的とした燃焼最大効率化の制御理論の開発、ITとの協調制御開発を OEM メーカーと積極的に進めています。

先進的な開発手段として、独自のモデルベースド・テクノロジーを保有し、トレードオフ設計による最適要件の定義、自動車全体の最適制御を実現します。更に燃焼の見える化、ラピッドプロト開発、適合分野での計測効率化を進める為の AZAPA JAPAN コンソーシアムを立ち上げ、国内外の専門分野と強いリレーションを持ち、より難しい課題解決に向けて、発展し続けます。



共創ソリューション

Brand New Values

量産開発

AZAPA の遺伝子 (DNA) は、違う品種でなければ結実しないオリーブの形態と同じく、民族・宗教・国境を超えて共創できる象徴としています。共創とは、お客様とともに新しい価値を生む商品やサービスを「共に創る」仕組みであり、機能システムコンソーシアムや Tier0.5 戦略は、オープンイノベーションを牽引し、新たな存在感を提供するものです。共創システムは、お客様の事業のフロンティアを加速させ、スピード感のある価値創造を実現させるでしょう。

Entirely Connect

ブランディング

AZAPA は、これまで企業内での閉ざされたクローズド・イノベーションを可視化し、保有技術を連携することで、イノベーションのジレンマを解決し、新たな市場を創出します。また、複数の企業や大学などと連携し、広くオープンイノベーションを牽引する仕組みを持つことで、技術基盤の底上げや新たなイノベーションを生む環境を構築しています。

Possibility Design

共同開発

AZAPA は可能性をカタチにすることこそが重要なファクターであると考えています。可能性を言葉にするだけでは、市場のチャンスを逃すことにつながるでしょう。意思決定のスピードがある AZAPA は、挑戦する勇気を讃え、失敗を賞賛できる環境を整え、可能性をカタチにします。

Think Art

コンサルティング

我々の問題解決力は、表層的なソリューションではなく、課題解決をお客様以上の深層的な立場で考え、醸成し、到達できる理解力です。共感意識を同調させることで、我々の持つ「考える」ための閃き (結節点) を加えることで、発想の豊かさ、ゴールへのアプローチの確かさを実感して頂けるでしょう。

共創ソリューションでは、自動車参入する企業の「何をどうしたらイイか」を具体的に解決します。企業は同じ技術の保有により、コモディティ化し、すぐに価格競争へ突入してしまいます。この状態をいち早く脱する為に、我々は+αの価値を一緒に考えます。また、従来の商品からのプラス・マイナスの価値は、そもそも多様化する消費者の期待するものとは違ってしまいうため、0からの+1の価値の積上げを行います。

+αの価値を与え、カタチにし、新たな存在感 (ポジション) を活用する。そして日本の素晴らしい技術を発掘、世界へと広げていきます。

 **AZAPA** <http://www.azapa.co.jp>

本 社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2 丁目 14-20 THE SQUARE 9F/10F
Tel. 052-221-7350 Fax. 052-221-7351
名古屋市営地下鉄 丸の内駅から徒歩 5 分



<https://www.facebook.com/azapa2008>